人流データに見る南九州インバウンド　2026
～ 南九州来訪者の周遊動向分析 ～

2026年11月

株式会社日本政策投資銀行
南九州支店

協力：DBJデジタルソリューションズ

はじめに

- 当行は2025年7月にレポート「人流ビッグデータで読み解く南九州インバウンドの動向 2025」（※1）を発行した。インバウンド来訪者のスマートフォン位置情報データを活用し、南九州を訪れるインバウンドの属性や動向を整理したものだが、計測した指標の中で最も関心を集めたのは「**同時訪問先**」であった。

- 「同時訪問先」は、**ある地点の来訪者が同一行程の中で他にどのような地点を訪れているのか**計測したものである。2025年度版レポートでは、宮崎市・鹿児島市を訪れたインバウンドが同時に訪れる九州域内の自治体を調査し、両都市を訪れるインバウンドは過半が福岡市を同時に訪れるものの、福岡市を訪れたインバウンドのうち両都市を訪れるのは僅かであるという事実を数値で明らかにし、**福岡からの誘客余地**が示唆される内容であった。

- 本レポートは、示唆の多い「同時訪問先」に焦点を絞り、より詳細な分析を実施したものである。具体的には、インバウンド来訪者が宮崎市・鹿児島市と同一行程で訪問する自治体について、以下3つの観点で**データ取得範囲を拡大**し、分析・考察を加えた。（※2）

  - データ取得期間を**2025年1月～12月の1年間**に拡大（前回は1か月間（7月）のデータ）
  - データ取得範囲を**全国**に拡大（前回は九州のみ）
  - **国籍別・季節別**のデータを取得（前回はインバウンド全体のみ）

- 人流データは、Agoop インバウンドデータ（グローバル位置情報データに基づく推計値）を使用した。

（※1）https://www.dbj.jp/investigate/20250725_206071.html

（※2）本分析で把握できるのは、同一旅行者による訪問先の組み合わせであり、訪問順序、移動経路は把握できない。

要旨

1. 宮崎市インバウンドの周遊動向

- ✓ **アジア**：福岡市を玄関口とし、熊本市、鹿児島市などとの組み合わせで宮崎市を訪れる周遊が典型。また、福岡空港から近いゴルフ場集積地である那珂川市との同時訪問率が高いことが特徴的で、**ゴルフツーリズム客に訴求している**ことが推測される。
- ✓ **欧米豪**：羽田・成田を玄関口に、東京以西のインバウンドの訪問意向率が高い観光地や、福岡市・熊本市・別府市・鹿児島市など九州主要観光地との組み合わせで宮崎市を訪問。日南市・新富町・高千穂町・日向市など欧米豪でも**県内周遊がみられる**ことが特徴的。
- ✓ 宮崎市と高千穂町の周遊はかねてより更なる拡大余地があると言われるが、宮崎市を訪れたインバウンドのうち、高千穂町を訪れるのはアジア17.3%、欧米豪8.8%。一方、高千穂町を訪れたインバウンドのうち宮崎市を訪れるのは1割程度にとどまり、**南北の観光地は独立に訪問されている傾向**にある。

2. 鹿児島市インバウンドの周遊動向

- ✓ **アジア**：福岡市や熊本市、宮崎市と組み合わせた九州周遊ルートが典型とみられるが、全体として同時訪問率が小さく**周遊先が分散**していることが示唆される。また、霧島市や指宿市、薩摩川内市など県内自治体も同時訪問率上位にあり、**鹿児島県内でも多様な周遊**。
- ✓ **欧米豪**：羽田・成田を玄関口に、東京以西のインバウンド訪問意向率の高い観光地との組み合わせで鹿児島市を訪問するケースが典型。また、高知市・静岡市など必ずしも都市間交通の利便性が高くない地域が上位にあり、横浜市・長崎市・広島市などとともに**クルーズ船の影響**が出ていると言える。一方、霧島市以外に鹿児島県・宮崎県の自治体は上位に入っておらず、**鹿児島県内や宮崎県との周遊は限定的**。
- ✓ 鹿児島県内自治体への来訪者の鹿児島市訪問率は非常に高く、鹿児島市は**県内周遊のハブ**として機能していることが確認される。

3. まとめ

- ✓ **アジア**からの来訪者は**九州周遊**の中で、**欧米豪**からの来訪者は**西日本広域周遊**の中で南九州を訪れる傾向が強いと推測される。周遊ルートは、代表的な観光地やクルーズ船の寄港地をつなぐものが目立ち、**ストーリー性・テーマ性のある周遊**は人流データ上で明確な人流としてとらえられる規模には至っていない。一方、ゴルフツーリズムはその唯一の例外であることが示唆された。
- ✓ 南九州への誘客には、広域周遊ルートの中で**「南九州を選ぶ理由」**を明確にすることが重要となる。地域固有の資源を生かした特別な体験への期待感を醸成し、多様な旅程の中で選ばれる観光地としての存在感を高める必要がある。
- ✓ 一方、**南九州域内の複数地域を訪れる周遊層**も確実に存在している。この層は域内での滞在時間や消費機会の拡大が期待できることから、この層が南九州に何を期待しているのかを把握し、その期待に応えるコンテンツを地域資源の中から磨き上げ、「もう一泊、もう一地域」につなげることが、インバウンドによる経済効果の拡大に重要となる。

目次

1．宮崎市来訪者の同時訪問分析

1-1 同時訪問先（全国） ・・・ P5
1-2 国籍別・季節別同時訪問先（全国） ・・・ P6、7
1-3 同時訪問先（九州） ・・・ P8

2．鹿児島市来訪者の同時訪問分析

2-1 同時訪問先（全国） ・・・ P10
2-2 国籍別・季節別同時訪問先（全国） ・・・ P11、12
2-3 同時訪問先（九州） ・・・ P13

3．まとめ

3-1 南九州インバウンドの特徴 ・・・ P15
3-2 経済効果促進に向けて ・・・ P16

当レポートにおける用語の定義

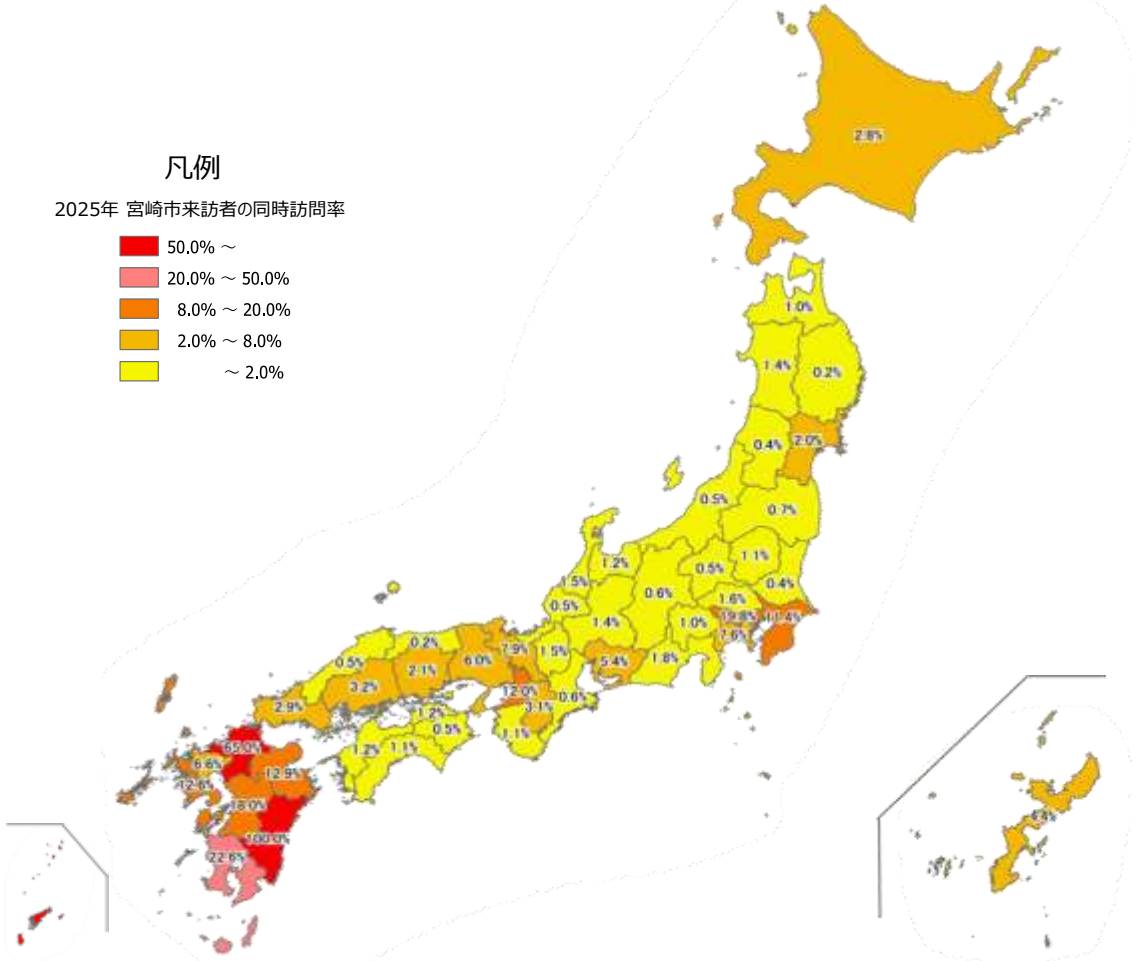
来訪者数	：	Agoop インバウンドデータに基づく2025年1月～12月の年間推計値
同時訪問率	：	宮崎市または鹿児島市来訪者のうち、対象期間中に当該市区町村への訪問も確認された人(*1)の割合
アジア	：	韓国、台湾、香港、中国、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド とする
欧米豪	：	英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア、米国、カナダ、オーストラリア、その他 とする

（*1）暦月内に対象市区町村に1時間以上滞在した人を対象に集計し拡大推計した人数

１．宮崎市来訪者の同時訪問分析

1-1. 宮崎市来訪者の同時訪問先（全国）

- 宮崎市来訪者の同時訪問先は福岡市が突出して高く、次いで鹿児島市、日南市、大田区、熊本市が続く。
- 同時訪問先上位に入る自治体の傾向は、国際空港のあるゲートウェイ都市のほか、九州広域の都市との同時訪問率が高く、宮崎市は九州周遊ルートの一つとして訪問されている傾向にある。



同時訪問 TOP30

順位	市区町村	都道府県	同時訪問数(人)	同時訪問率
-	宮崎市	宮崎県	93,540	100.0%
1	福岡市	福岡県	60,820	65.0%
2	鹿児島市	鹿児島県	21,160	22.6%
3	日南市	宮崎県	19,350	20.7%
4	大田区	東京都	18,570	19.8%
5	熊本市	熊本県	16,800	18.0%
6	高千穂町	宮崎県	14,550	15.5%
7	霧島市	鹿児島県	14,230	15.2%
8	都城市	宮崎県	12,730	13.6%
9	別府市	大分県	12,060	12.9%
10	長崎市	長崎県	11,800	12.6%
11	由布市	大分県	11,710	12.5%
12	大阪市	大阪府	11,260	12.0%
13	東京都区部	東京都	10,810	11.6%
14	成田市	千葉県	10,690	11.4%
15	阿蘇市	熊本県	8,550	9.1%
16	久留米市	福岡県	7,580	8.1%
17	京都市	京都府	7,400	7.9%
18	横浜市	神奈川県	7,110	7.6%
19	那珂川市	福岡県	6,950	7.4%
20	太宰府市	福岡県	6,930	7.4%
21	日向市	宮崎県	6,420	6.9%
22	北九州市	福岡県	6,230	6.7%
23	佐賀市	佐賀県	6,190	6.6%
24	延岡市	宮崎県	5,920	6.3%
25	指宿市	鹿児島県	5,920	6.3%
26	神戸市	兵庫県	5,620	6.0%
27	大分市	大分県	5,590	6.0%
28	泉佐野市	大阪府	5,550	5.9%
29	屋久島町	鹿児島県	5,310	5.7%
30	名古屋市	愛知県	5,070	5.4%

※各都道府県で同時訪問率が最も高い市区町村の同時訪問率をマップへ表示
※大田区を除く東京都内で同時訪問率の最も高い新宿区を東京都区部と表示
出所：Agoop インバウンドデータ、(C)Esri Japan

※同時訪問率は訪問先毎に算出しているため同一人が複数の市区町村を訪れている場合がある

1-2. 国籍別 宮崎市来訪者の同時訪問先

- **アジア：**福岡市を玄関口とし、熊本市、鹿児島市などとの組み合わせで宮崎市を訪れる周遊が典型。また、福岡空港から近いゴルフ場集積地である那珂川市との同時訪問率が高いことが特徴的で、ゴルフツーリズム客に訴求していることが推測される。
- **欧米豪：**羽田・成田を玄関口に、東京以西のインバウンド訪問意向率(*2)が高い観光地や、福岡市・熊本市・別府市・鹿児島市など九州主要観光地と組み合わせて宮崎市を訪問。日南市・新富町・高千穂町・日向市など県内周遊がみられることが特徴的。

距離区分

- 近　宮崎県
- 中　九州（宮崎県を除く）
- 遠　九州域以外

宮崎市来訪者数

アジア　n＝74,020人

欧米豪　n＝19,520人

距離内訳（TOP20）

【アジア】

近 3件　中 14件　遠 3件

【欧米豪】

近 4件　中 7件　遠 9件

アジア：同時訪問 TOP20

順位	市区町村	都道府県	同時訪問率	距離
1	福岡市	福岡県	74.7%	中
2	鹿児島市	鹿児島県	25.3%	中
3	日南市	宮崎県	21.4%	近
4	熊本市	熊本県	18.0%	中
5	高千穂町	宮崎県	17.3%	近
6	霧島市	鹿児島県	16.2%	中
7	都城市	宮崎県	15.4%	近
8	由布市	大分県	13.8%	中
9	長崎市	長崎県	13.4%	中
10	大田区	東京都	12.5%	遠
11	別府市	大分県	12.0%	中
12	阿蘇市	熊本県	9.8%	中
13	大阪市	大阪府	9.5%	遠
14	久留米市	福岡県	9.3%	中
15	那珂川市	福岡県	9.1%	中
16	太宰府市	福岡県	9.1%	中
17	東京都区部	東京都	8.0%	遠
18	佐賀市	佐賀県	7.1%	中
19	屋久島町	鹿児島県	6.9%	中
20	指宿市	鹿児島県	6.7%	中

欧米豪：同時訪問 TOP20

順位	市区町村	都道府県	同時訪問率	距離
1	大田区	東京都	47.8%	遠
2	成田市	千葉県	32.5%	遠
3	東京都区部	東京都	29.0%	遠
4	福岡市	福岡県	28.2%	中
5	大阪市	大阪府	21.7%	遠
6	日南市	宮崎県	17.9%	近
7	熊本市	熊本県	17.7%	中
8	横浜市	神奈川県	17.0%	遠
9	別府市	大分県	16.1%	中
10	鹿児島市	鹿児島県	12.6%	中
11	京都市	京都府	12.6%	遠
12	新富町	宮崎県	11.9%	近
13	霧島市	鹿児島県	11.4%	中
14	名古屋市	愛知県	10.5%	遠
15	長崎市	長崎県	9.7%	中
16	北九州市	福岡県	9.5%	中
17	神戸市	兵庫県	9.1%	遠
18	高千穂町	宮崎県	8.8%	近
19	日向市	宮崎県	8.4%	近
20	広島市	広島県	8.2%	遠

※距離区分：「近」＝宮崎県の市町村／「中」＝宮崎県を除く九州の市町村／「遠」＝九州以外の市区町村
※大田区を除く東京都内で同時訪問率の最も高い区を代表し東京都区部と表示（アジア：港区、欧米豪：渋谷区）
出所：Agoop インバウンドデータ　(*2)出典：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版」

1-2. （参考）季節別 宮崎市来訪者の同時訪問先

距離区分

- 近 宮崎県
- 中 九州（宮崎県を除く）
- 遠 九州域以外

宮崎市来訪者数

冬季 n＝27,250人

夏季 n＝18,650人

距離内訳（TOP20）

【冬季】

近 4件　中 11件　遠 5件

【夏季】

近 4件　中 11件　遠 5件

冬季（1月･2月） 同時訪問 TOP20

順位	市区町村	都道府県	同時訪問率	距離
1	福岡市	福岡県	79.1%	中
2	那珂川市	福岡県	24.6%	中
3	日南市	宮崎県	13.6%	近
4	大田区	東京都	12.6%	遠
5	熊本市	熊本県	12.4%	中
6	由布市	大分県	11.6%	中
7	成田市	千葉県	10.6%	遠
8	別府市	大分県	10.2%	中
9	鹿児島市	鹿児島県	10.2%	中
10	霧島市	鹿児島県	10.1%	中
11	都城市	宮崎県	8.1%	近
12	高千穂町	宮崎県	8.0%	近
13	阿蘇市	熊本県	7.9%	中
14	東京都区部	東京都	7.3%	遠
15	太宰府市	福岡県	6.2%	中
16	大阪市	大阪府	5.2%	遠
17	指宿市	鹿児島県	4.6%	中
18	神戸市	兵庫県	4.2%	遠
19	日向市	宮崎県	4.0%	近
20	佐賀市	佐賀県	4.0%	中

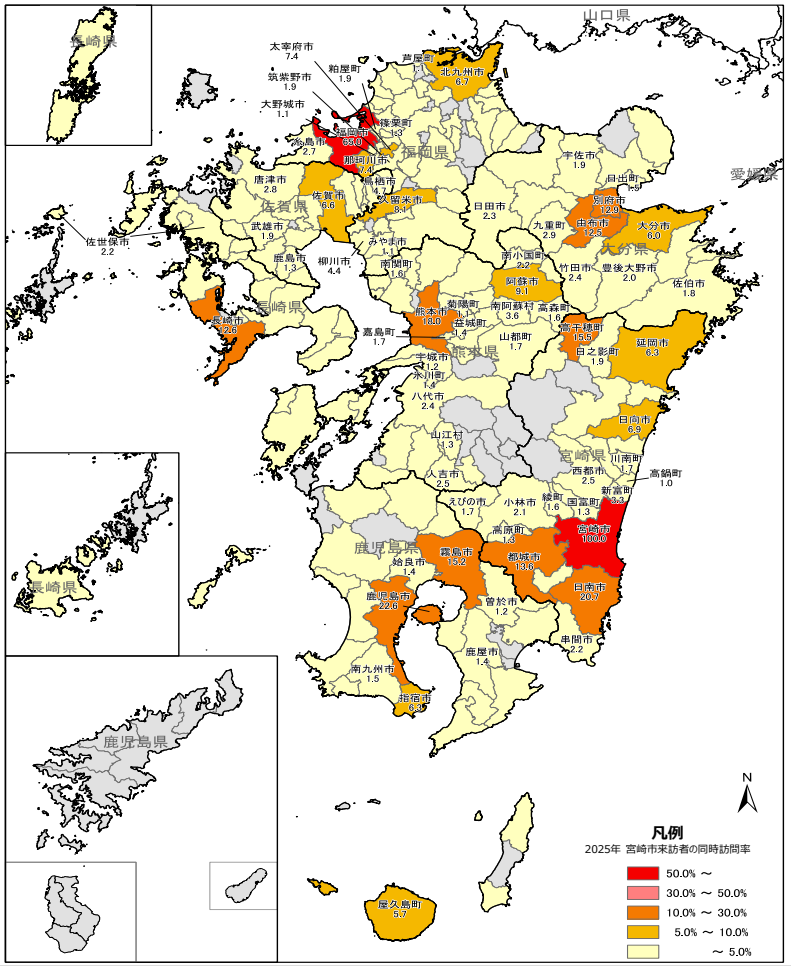
夏季（6月･7月） 同時訪問 TOP20

順位	市区町村	都道府県	同時訪問率	距離
1	福岡市	福岡県	69.1%	中
2	長崎市	長崎県	42.7%	中
3	日南市	宮崎県	20.1%	近
4	大田区	東京都	18.4%	遠
5	鹿児島市	鹿児島県	18.0%	中
6	高千穂町	宮崎県	17.7%	近
7	都城市	宮崎県	16.1%	近
8	東京都区部	東京都	14.9%	遠
9	熊本市	熊本県	14.2%	中
10	由布市	大分県	13.7%	中
11	霧島市	鹿児島県	13.1%	中
12	成田市	千葉県	10.9%	遠
13	大阪市	大阪府	10.8%	遠
14	別府市	大分県	9.7%	中
15	佐賀市	佐賀県	8.5%	中
16	阿蘇市	熊本県	7.7%	中
17	北九州市	福岡県	7.6%	中
18	日向市	宮崎県	7.2%	近
19	大分市	大分県	7.0%	中
20	広島市	広島県	6.7%	遠

※距離区分：「近」＝宮崎県の市町村／「中」＝宮崎県を除く九州の市町村／「遠」＝九州以外の市区町村
※大田区を除く東京都内で同時訪問率の最も高い区を代表し東京都区部と表示（冬季：港区、夏季：新宿区）
出所：Agoop インバウンドデータ

1-3. 宮崎市来訪者の同時訪問先（九州）

- 宮崎市来訪者の65.0%が福岡市を同時訪問する一方、福岡市来訪者に占める宮崎市訪問者の割合は1.3%にとどまる。
- 宮崎市インバウンドのうち高千穂町訪問者は15.5%、高千穂町を訪れたインバウンドのうち宮崎市を訪れるのは11.0%にとどまり、南北の観光地は独立に訪問されている傾向にある。



宮崎市同時訪問 TOP30

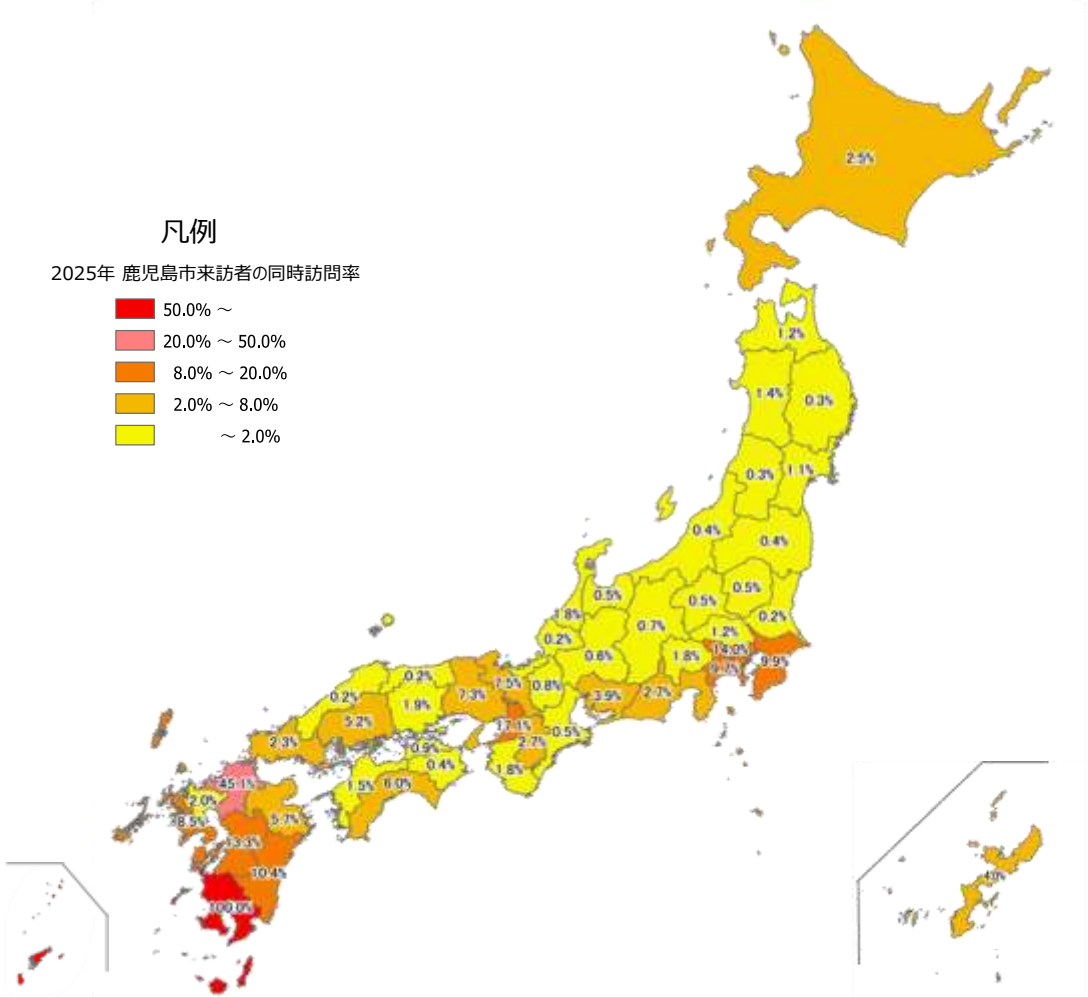
順位	市区町村	都道府県	同時訪問数(人)	同時訪問率	宮崎市来訪率
-	宮崎市	宮崎県	93,540	100.0%	100.0%
1	福岡市	福岡県	60,820	65.0%	1.3%
2	鹿児島市	鹿児島県	21,160	22.6%	10.4%
3	日南市	宮崎県	19,350	20.7%	41.1%
4	熊本市	熊本県	16,800	18.0%	3.3%
5	高千穂町	宮崎県	14,550	15.5%	11.0%
6	霧島市	鹿児島県	14,230	15.2%	10.8%
7	都城市	宮崎県	12,730	13.6%	52.1%
8	別府市	大分県	12,060	12.9%	1.3%
9	長崎市	長崎県	11,800	12.6%	5.9%
10	由布市	大分県	11,710	12.5%	1.0%
11	阿蘇市	熊本県	8,550	9.1%	2.2%
12	久留米市	福岡県	7,580	8.1%	4.8%
13	那珂川市	福岡県	6,950	7.4%	15.0%
14	太宰府市	福岡県	6,930	7.4%	0.7%
15	日向市	宮崎県	6,420	6.9%	54.3%
16	北九州市	福岡県	6,230	6.7%	1.2%
17	佐賀市	佐賀県	6,190	6.6%	4.7%
18	延岡市	宮崎県	5,920	6.3%	40.8%
19	指宿市	鹿児島県	5,920	6.3%	19.5%
20	大分市	大分県	5,590	6.0%	4.4%
21	屋久島町	鹿児島県	5,310	5.7%	39.1%
22	鳥栖市	佐賀県	4,380	4.7%	2.3%
23	柳川市	福岡県	4,070	4.4%	1.9%
24	南阿蘇村	熊本県	3,320	3.6%	3.8%
25	新富町	宮崎県	3,090	3.3%	88.0%
26	九重町	大分県	2,680	2.9%	1.4%
27	唐津市	佐賀県	2,640	2.8%	2.8%
28	糸島市	福岡県	2,550	2.7%	1.3%
29	西都市	宮崎県	2,380	2.5%	27.1%
30	人吉市	熊本県	2,320	2.5%	26.0%

※宮崎市来訪率：宮崎市同時来訪者数 ÷ 各市町村来訪者総数
出所：Agoop インバウンドデータ、(C)Esri Japan

２．鹿児島市来訪者の同時訪問分析

2-1. 鹿児島市来訪者の同時訪問先（全国）

- 鹿児島市へのインバウンド来訪者は、福岡市、霧島市、大阪市、大田区、熊本市、指宿市などが上位。
- 九州域外で同時訪問率上位に入るのは国際空港のあるゲートウェイ都市、あるいは京都・神戸・広島など競争力の高い観光資源を有する都市である。高知市との同時訪問率の高さはクルーズ船の航路に起因すると推測される。



同時訪問 TOP30

順位	市区町村	都道府県	同時訪問数(人)	同時訪問率
-	鹿児島市	鹿児島県	204,380	100.0%
1	福岡市	福岡県	92,220	45.1%
2	霧島市	鹿児島県	67,360	33.0%
3	大阪市	大阪府	34,990	17.1%
4	大田区	東京都	28,610	14.0%
5	熊本市	熊本県	27,200	13.3%
6	指宿市	鹿児島県	23,660	11.6%
7	宮崎市	宮崎県	21,160	10.4%
8	東京都区部	東京都	20,500	10.0%
9	成田市	千葉県	20,280	9.9%
10	薩摩川内市	鹿児島県	20,080	9.8%
11	横浜市	神奈川県	19,800	9.7%
12	田尻町	大阪府	18,360	9.0%
13	長崎市	長崎県	17,450	8.5%
14	京都市	京都府	15,370	7.5%
15	神戸市	兵庫県	14,840	7.3%
16	泉佐野市	大阪府	13,810	6.8%
17	阿蘇市	熊本県	13,140	6.4%
18	鹿屋市	鹿児島県	12,790	6.3%
19	高知市	高知県	12,250	6.0%
20	出水市	鹿児島県	11,850	5.8%
21	別府市	大分県	11,670	5.7%
22	由布市	大分県	11,010	5.4%
23	日南市	宮崎県	10,680	5.2%
24	さつま町	鹿児島県	10,680	5.2%
25	広島市	広島県	10,650	5.2%
26	高千穂町	宮崎県	10,070	4.9%
27	北九州市	福岡県	9,540	4.7%
28	姶良市	鹿児島県	9,500	4.6%
29	南九州市	鹿児島県	9,030	4.4%
30	屋久島町	鹿児島県	8,830	4.3%

※各都道府県で同時訪問率が最も高い市区町村の同時訪問率をマップへ表示
※大田区を除く東京都内で同時訪問率の最も高い千代田区を東京都区部と表示
※同時訪問率は訪問先毎に算出しているため同一人が複数の市区町村を訪れている場合がある
出所：Agoop インバウンドデータ、(C)Esri Japan

2-2. 国籍別 鹿児島市来訪者の同時訪問先

- **アジア：**福岡市や熊本市、宮崎市と組み合わせた九州周遊ルートが典型とみられるが、全体として同時訪問率が小さく周遊先が分散していることが示唆される。また、霧島市や指宿市、薩摩川内市など県内自治体も同時訪問率上位にあり、鹿児島県内でも多様な周遊がみられる。
- **欧米豪：**羽田・成田を玄関口に、東京以西のインバウンド訪問意向率（*3）の高い観光地との組み合わせで鹿児島市を訪問するケースが典型。また、高知市に加え、横浜市・長崎市・広島市などの一部はクルーズ船の影響も考えられる。一方、霧島市以外に鹿児島県・宮崎県の自治体は上位に入っておらず、鹿児島県内や宮崎県との周遊は限定的。

距離区分

- 近　鹿児島県
- 中　九州（鹿児島県を除く）
- 遠　九州域以外

鹿児島市来訪者数

アジア　n＝164,140人

欧米豪　n＝40,240人

距離内訳（TOP20）

【アジア】

近 6件　中 7件　遠 7件

【欧米豪】

近 1件　中 4件　遠 15件

アジア：同時訪問 TOP20

順位	市区町村	都道府県	同時訪問率	距離
1	福岡市	福岡県	49.3%	中
2	霧島市	鹿児島県	36.5%	近
3	大阪市	大阪府	14.4%	遠
4	熊本市	熊本県	13.2%	中
5	指宿市	鹿児島県	13.2%	近
6	宮崎市	宮崎県	11.4%	中
7	薩摩川内市	鹿児島県	11.4%	近
8	田尻町	大阪府	10.3%	遠
9	大田区	東京都	7.4%	遠
10	鹿屋市	鹿児島県	7.4%	近
11	出水市	鹿児島県	6.8%	近
12	さつま町	鹿児島県	6.5%	近
13	成田市	千葉県	6.4%	遠
14	阿蘇市	熊本県	6.4%	中
15	東京都区部	東京都	6.1%	遠
16	泉佐野市	大阪府	6.1%	遠
17	長崎市	長崎県	6.0%	中
18	日南市	宮崎県	5.7%	中
19	横浜市	神奈川県	5.7%	遠
20	由布市	大分県	5.6%	中

欧米豪：同時訪問 TOP20

順位	市区町村	都道府県	同時訪問率	距離
1	大田区	東京都	40.8%	遠
2	東京都区部	東京都	31.1%	遠
3	大阪市	大阪府	28.1%	遠
4	福岡市	福岡県	27.9%	中
5	横浜市	神奈川県	25.9%	遠
6	成田市	千葉県	24.3%	遠
7	京都市	京都府	20.7%	遠
8	長崎市	長崎県	18.7%	中
9	霧島市	鹿児島県	18.5%	近
10	広島市	広島県	17.4%	遠
11	神戸市	兵庫県	16.5%	遠
12	熊本市	熊本県	13.8%	中
13	泉佐野市	大阪府	9.3%	遠
14	高知市	高知県	9.1%	遠
15	静岡市	静岡県	8.7%	遠
16	奈良市	奈良県	8.1%	遠
17	名古屋市	愛知県	7.4%	遠
18	別府市	大分県	7.1%	中
19	那覇市	沖縄県	6.8%	遠
20	廿日市市	広島県	6.6%	遠

※距離区分：「近」＝鹿児島県の市町村／「中」＝鹿児島県を除く九州の市町村／「遠」＝九州以外の市区町村
※大田区を除く東京都内で同時訪問率の最も高い区を代表し東京都区部と表示（アジア：千代田区、欧米豪：渋谷区）
出所：Agoop インバウンドデータ （*3)出典：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版」

2-2. （参考）季節別 鹿児島市来訪者の同時訪問先

距離区分

近 鹿児島県

中 九州（鹿児島県を除く）

遠 九州域以外

鹿児島市来訪者数

冬季 n＝27,380人

夏季 n＝27,270人

距離内訳（TOP20）

【冬季】

近 6件　中 8件　遠 6件

【夏季】

近 2件　中 10件　遠 8件

冬季（1月･2月） 同時訪問 TOP20

順位	市区町村	都道府県	同時訪問率	距離
1	福岡市	福岡県	68.4%	中
2	薩摩川内市	鹿児島県	37.7%	近
3	鹿屋市	鹿児島県	36.0%	近
4	出水市	鹿児島県	36.0%	近
5	さつま町	鹿児島県	34.3%	近
6	霧島市	鹿児島県	24.1%	近
7	大田区	東京都	20.5%	遠
8	熊本市	熊本県	19.8%	中
9	成田市	千葉県	13.8%	遠
10	東京都区部	東京都	13.1%	遠
11	大阪市	大阪府	12.4%	遠
12	指宿市	鹿児島県	12.1%	近
13	由布市	大分県	11.6%	中
14	阿蘇市	熊本県	10.3%	中
15	宮崎市	宮崎県	10.1%	中
16	別府市	大分県	8.5%	中
17	泉佐野市	大阪府	8.1%	遠
18	高千穂町	宮崎県	7.9%	中
19	京都市	京都府	7.9%	遠
20	日南市	宮崎県	7.7%	中

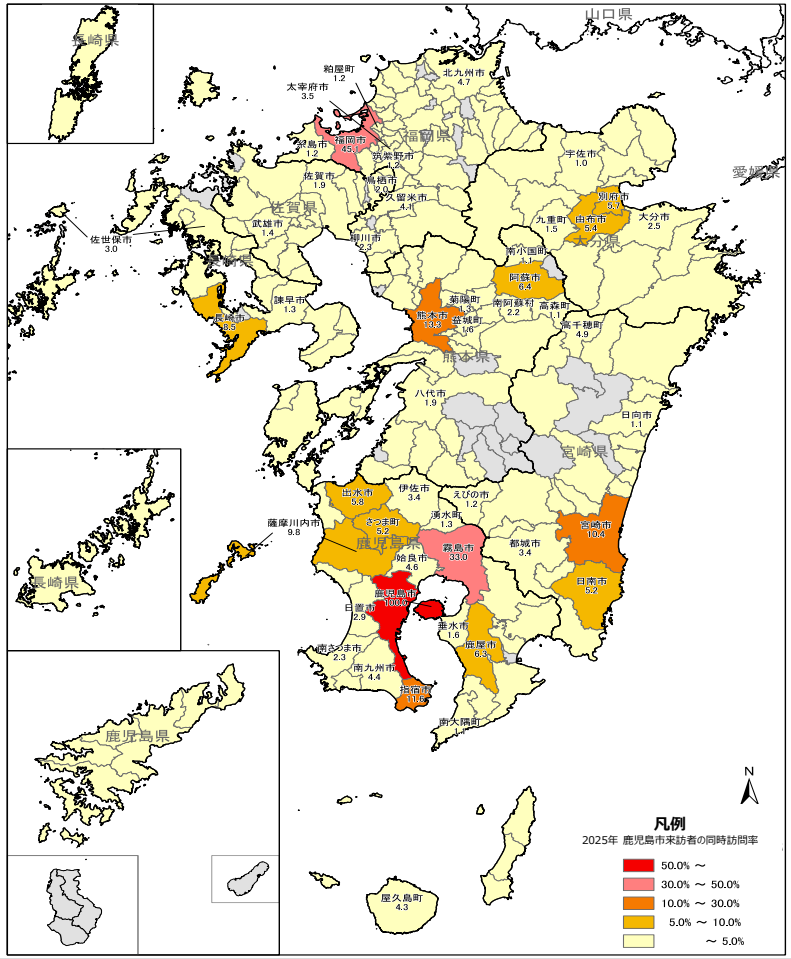
夏季（6月･7月） 同時訪問 TOP20

順位	市区町村	都道府県	同時訪問率	距離
1	大阪市	大阪府	39.3%	遠
2	高知市	高知県	30.4%	遠
3	霧島市	鹿児島県	26.9%	近
4	福岡市	福岡県	25.5%	中
5	東京都区部	東京都	17.4%	遠
6	大田区	東京都	17.2%	遠
7	熊本市	熊本県	16.1%	中
8	成田市	千葉県	15.6%	遠
9	宮崎市	宮崎県	12.3%	中
10	指宿市	鹿児島県	11.5%	近
11	横浜市	神奈川県	11.4%	遠
12	広島市	広島県	9.0%	遠
13	別府市	大分県	8.3%	中
14	高千穂町	宮崎県	8.1%	中
15	北九州市	福岡県	7.8%	中
16	由布市	大分県	7.8%	中
17	長崎市	長崎県	7.5%	中
18	日南市	宮崎県	7.5%	中
19	阿蘇市	熊本県	6.2%	中
20	京都市	京都府	6.1%	遠

※距離区分：「近」＝鹿児島県の市町村／「中」＝鹿児島県を除く九州の市町村／「遠」＝九州以外の市区町村
※大田区を除く東京都内で同時訪問率の最も高い区を代表し東京都区部と表示（冬季：港区、夏季：渋谷区）
出所：Agoop インバウンドデータ

2-3. 鹿児島市来訪者の同時訪問先（九州）

- 鹿児島市来訪者の45.1%が福岡市を同時訪問する一方、福岡市来訪者に占める鹿児島市訪問者の割合は2.0%にとどまる。
- 霧島市、指宿市、薩摩川内市、出水市などの鹿児島県内の来訪者は、半数以上が鹿児島市を同時に訪問しており、鹿児島市は県内観光のハブになっていると言える。



鹿児島市同時訪問 TOP30

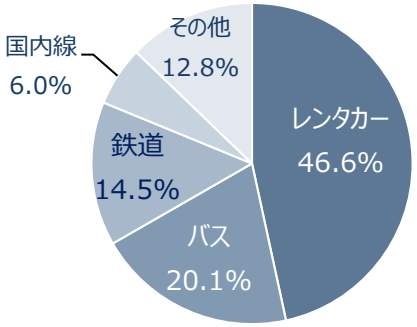
順位	市区町村	都道府県	同時訪問数(人)	同時訪問率	鹿児島市来訪率
-	鹿児島市	鹿児島県	204,380	100.0%	100.0%
1	福岡市	福岡県	92,220	45.1%	2.0%
2	霧島市	鹿児島県	67,360	33.0%	51.1%
3	熊本市	熊本県	27,200	13.3%	5.3%
4	指宿市	鹿児島県	23,660	11.6%	78.1%
5	宮崎市	宮崎県	21,160	10.4%	22.6%
6	薩摩川内市	鹿児島県	20,080	9.8%	56.7%
7	長崎市	長崎県	17,450	8.5%	8.7%
8	阿蘇市	熊本県	13,140	6.4%	3.5%
9	鹿屋市	鹿児島県	12,790	6.3%	55.6%
10	出水市	鹿児島県	11,850	5.8%	77.7%
11	別府市	大分県	11,670	5.7%	1.3%
12	由布市	大分県	11,010	5.4%	0.9%
13	日南市	宮崎県	10,680	5.2%	22.7%
14	さつま町	鹿児島県	10,680	5.2%	59.3%
15	高千穂町	宮崎県	10,070	4.9%	7.6%
16	北九州市	福岡県	9,540	4.7%	1.9%
17	姶良市	鹿児島県	9,500	4.6%	44.3%
18	南九州市	鹿児島県	9,030	4.4%	77.4%
19	屋久島町	鹿児島県	8,830	4.3%	65.0%
20	久留米市	福岡県	8,390	4.1%	5.3%
21	太宰府市	福岡県	7,250	3.5%	0.7%
22	都城市	宮崎県	6,940	3.4%	28.4%
23	伊佐市	鹿児島県	6,930	3.4%	57.0%
24	佐世保市	長崎県	6,090	3.0%	3.5%
25	日置市	鹿児島県	5,920	2.9%	53.9%
26	大分市	大分県	5,130	2.5%	4.1%
27	柳川市	福岡県	4,660	2.3%	2.2%
28	南さつま市	鹿児島県	4,610	2.3%	46.9%
29	南阿蘇村	熊本県	4,530	2.2%	5.1%
30	鳥栖市	佐賀県	4,010	2.0%	2.1%

※鹿児島市来訪率：鹿児島市同時来訪者数 ÷ 各市町村来訪者総数
出所：Agoop インバウンドデータ、(C)Esri Japan

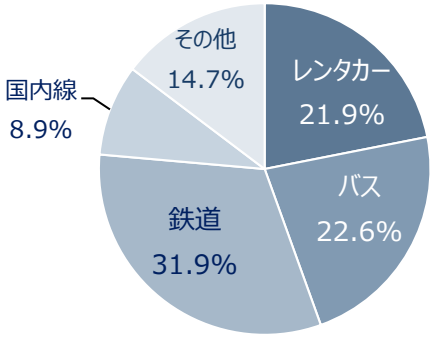
３．まとめ　～南九州インバウンドの特徴と経済効果促進～

3-1. 南九州インバウンドの特徴 ～ 同時訪問率からみる周遊パターンと交通手段

宮崎県来訪時の利用交通機関



鹿児島県来訪時の利用交通機関



出典：国土交通省「FF-Data（訪日外国人流動データ）2024」より作成



南九州インバウンドの特徴

【宮崎】
- ✓ 宮崎県内の観光地は**独立に訪問**されている傾向。
- ✓ アジアの7割強が福岡市を同時訪問。

【鹿児島】
- ✓ 鹿児島市を**ハブ**とした県内周遊。
- ✓ アジアは県内を周遊するも、欧米豪の県内周遊は限定的。

周遊パターンからみる南九州来訪者の特徴

① 西日本広域周遊型（首都圏・関西・南九州）

- **欧米豪**の広域周遊が特に顕著で、広域周遊の中で南九州を訪問する傾向。

→ **欧米豪向けに広域周遊の延長上に南九州を位置づけた訴求が有効。**

② 九州周遊型（主に福岡市・熊本市・南九州）

- 主に**アジア。**福岡市を玄関口とした九州周遊の中で南九州を訪問。**最も多い周遊パターン**の可能性。
- 鹿児島市来訪者の主な交通手段は**鉄道**。宮崎市来訪者は**レンタカー**利用が中心。

→ **福岡市や隣県からの誘客余地が大きい。**

③ 南九州周遊型（県内周遊・直接訪問等）

- 南九州を中心とする周遊や南九州への直接訪問を含み、南九州を**目的地として訪問している可能性。**

→ **消費拡大が期待しうる。**
滞在日数・県内立寄り数の底上げが課題。

出所：Agoop インバウンドデータ

3-2. 南九州インバウンドの経済効果促進に向けて

南九州インバウンドの経済効果を高める二つの方向性

周遊の深化～滞在時間・地域内消費拡大

「効果的に回れる仕組み」と「一地点での消費価値」を同時に高める

- 分散する観光地を回りやすくつなぐ
- 一地点で消費を最大化できる高付加価値商品
- 宿泊・夜間消費へつながる行程

宮崎

- 移動そのものが観光となり、県内を巡ることで完結するストーリー
- 自然・神話・食等を深く体験できる一体型商品

鹿児島

- 火山・温泉・食・歴史を掛け合わせた高付加価値体験
- 県内周遊を広げ、点在する観光地を効果的に結び、立寄り数を増やす

夜間・早朝コンテンツを組み合わせた「もう一泊の実現」

南九州を「目的地」とした誘客

広域周遊の立寄り先から、旅程を組む理由のある目的地へ



来訪者特徴に応じた訴求・商品設計

観光地としての**期待を醸成**し、国内周遊客の誘客拡大
目的地として選ぶ層の**期待を把握**し、**期待に応える体験**で消費拡大

- **南九州だからこそできる体験**: 南九州ならではの体験価値を核とした訴求コンテンツ
- **地域ごとの特色を強調**: 周遊を前提とした情報発信・広域連携
- **発見型観光**: 巡ることで新たな日本を発見できる特別感

南九州来訪者が抱く期待感・移動上の負担・宿泊や消費の実態を把握し、具体的な商品・施策へつなげることが重要。

画像はMicrosoft Copilotを使用して生成

Appendix

九州来訪者数 TOP100

（人）

順位	市町村	都道府県	来訪者数
1	福岡市	福岡県	4,563,020
2	由布市	大分県	1,220,550
3	太宰府市	福岡県	1,028,790
4	別府市	大分県	924,340
5	熊本市	熊本県	516,450
6	北九州市	福岡県	503,640
7	日田市	大分県	395,490
8	阿蘇市	熊本県	380,810
9	宇佐市	大分県	213,990
10	柳川市	福岡県	209,210
11	対馬市	長崎県	208,450
12	鹿児島市	鹿児島県	204,380
13	長崎市	長崎県	201,380
14	糸島市	福岡県	197,800
15	九重町	大分県	195,670
16	鳥栖市	佐賀県	194,480
17	佐世保市	長崎県	173,060
18	筑紫野市	福岡県	167,120
19	久留米市	福岡県	157,280
20	朝倉市	福岡県	142,470
21	高千穂町	宮崎県	132,690
22	霧島市	鹿児島県	131,800
23	佐賀市	佐賀県	131,150
24	大分市	大分県	126,570
25	南小国町	熊本県	121,360
26	大野城市	福岡県	120,980
27	益城町	熊本県	111,560
28	宮崎市	宮崎県	93,540
29	武雄市	佐賀県	93,480
30	唐津市	佐賀県	93,460
31	日出町	大分県	90,680
32	南阿蘇村	熊本県	88,280
33	粕屋町	福岡県	73,500
34	玖珠町	大分県	72,560

（人）

順位	市町村	都道府県	来訪者数
35	菊陽町	熊本県	71,910
36	小郡市	福岡県	69,090
37	嬉野市	佐賀県	61,480
38	篠栗町	福岡県	59,610
39	春日市	福岡県	59,180
40	飯塚市	福岡県	57,270
41	小国町	熊本県	55,000
42	高森町	熊本県	54,060
43	大津町	熊本県	53,670
44	大村市	長崎県	50,480
45	宮若市	福岡県	49,610
46	宗像市	福岡県	49,150
47	福津市	福岡県	47,390
48	日南市	宮崎県	47,060
49	南関町	熊本県	46,530
50	那珂川市	福岡県	46,240
51	志免町	福岡県	46,080
52	菊池市	熊本県	44,890
53	国東市	大分県	43,000
54	伊万里市	佐賀県	41,630
55	古賀市	福岡県	41,230
56	うきは市	福岡県	41,100
57	竹田市	大分県	40,550
58	壱岐市	長崎県	39,910
59	基山町	佐賀県	39,610
60	雲仙市	長崎県	37,840
61	鹿島市	佐賀県	37,590
62	薩摩川内市	鹿児島県	35,400
63	みやま市	福岡県	32,610
64	西海市	長崎県	30,840
65	中津市	大分県	30,340
66	指宿市	鹿児島県	30,310
67	諫早市	長崎県	30,280
68	新宮町	福岡県	30,220

（人）

順位	市町村	都道府県	来訪者数
69	八女市	福岡県	29,410
70	山都町	熊本県	28,960
71	多久市	佐賀県	28,890
72	八代市	熊本県	26,080
73	大刀洗町	福岡県	25,240
74	久山町	福岡県	25,160
75	筑後市	福岡県	25,140
76	有田町	佐賀県	24,780
77	都城市	宮崎県	24,430
78	五島市	長崎県	23,030
79	鹿屋市	鹿児島県	23,000
80	杵築市	大分県	22,960
81	大牟田市	福岡県	21,590
82	姶良市	鹿児島県	21,420
83	島原市	長崎県	20,860
84	平戸市	長崎県	18,950
85	さつま町	鹿児島県	18,010
86	合志市	熊本県	17,790
87	宇城市	熊本県	16,900
88	広川町	福岡県	16,740
89	玉名市	熊本県	16,700
90	豊後大野市	大分県	16,240
91	嘉島町	熊本県	15,770
92	山鹿市	熊本県	15,430
93	出水市	鹿児島県	15,250
94	筑前町	福岡県	14,670
95	行橋市	福岡県	14,580
96	延岡市	宮崎県	14,530
97	鞍手町	福岡県	14,490
98	神埼市	佐賀県	14,380
99	苅田町	福岡県	13,880
100	松浦市	長崎県	13,740

出所：Agoop インバウンドデータ

Disclaimer

＜使用した位置データについて＞
「Agoop インバウンドデータ」

- 利用サービス：Agoop インバウンド定型分析レポート
- 外国人インバウンドデータ：Azira LLC.（旧社名 Near Intelligence，本社：米国）が保有するグローバル位置情報データを基に、Agoop にて集計加工したデータ
  ※個人を特定できないように秘匿化・プライバシー保護対策実施済みのデータのみを提供

＜留意事項＞
引用元の記載が無い画像等については、フリー素材を使用し作成している。

（お問い合わせ先）

株式会社日本政策投資銀行　南九州支店　企画調査課

〒892-0842　鹿児島市東千石町1-38　（☎ 099-226-2666）

著作権（C）Development Bank of Japan Inc. 2026
当資料は、株式会社日本政策投資銀行（DBJ）により作成されたものです。

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引などを勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願いいたします。

本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡ください。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず『出所：日本政策投資銀行』と明記してください。